



平成30年度埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)合同訓練
(平成31年2月7日(木) 鴻巣市 上谷総合公園)



熊谷市で行われるラグビーワールドカップ、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを見据え、2月7日、鴻巣市上谷総合公園内のフラワースタジアムにおいて、爆発事故が発生しスポーツ観戦者に多数の負傷者が発生したことを想定した訓練を実施しました。

この訓練により、埼玉SMART(埼玉県特別機動援助隊)を構成する県内11消防機関の機動救助隊、県内18医療機関の埼玉DMAT(災害派遣医療チーム)、埼玉県防災航空隊、近隣消防本部及び鴻巣警察署と連携強化を図ることができました。

全国統一防火標語

ひとつずつ
いいね！で確認
火の用心

埼玉県中央広域事務組合

検索

埼玉県の中央に位置する、「鴻巣市」「桶川市」「北本市」の3市から組織されており、消防業務及び斎場業務を行う地方公共団体(一部事務組合)です。



ホームページはこちら
(<https://www.ken-o.or.jp/>)



Twitterはこちら
(アカウント @SAITAMA_KENO)





ツイッター
Twitterはじめました

平成31年4月1日からツイッター (@SAITAMA_KENO)の運用をはじめました。ツイッターでは、職員採用情報、各種講習会、防災に関する情報、各種イベント情報など、当組合に関する情報を掲載します。

問合せ 消防総務課 ☎048-597-2002



新人消防職員のご紹介

平成31年4月1日付で埼玉県央広域消防本部に採用されました5名の新人消防職員です。地域住民の安全を守り住民の皆様から信頼される消防士になれるように日々努力を重ねます。



◆◆◆ **令和2年度 消防職員募集のお知らせ** ◆◆◆

- ◆消防職員を募集します… 募集受付時期：令和元年8月頃
試験予定日：令和元年9月頃
採用予定日：令和2年4月1日
- ◆採用説明会の開催…………… 開催時期：令和元年7月27日

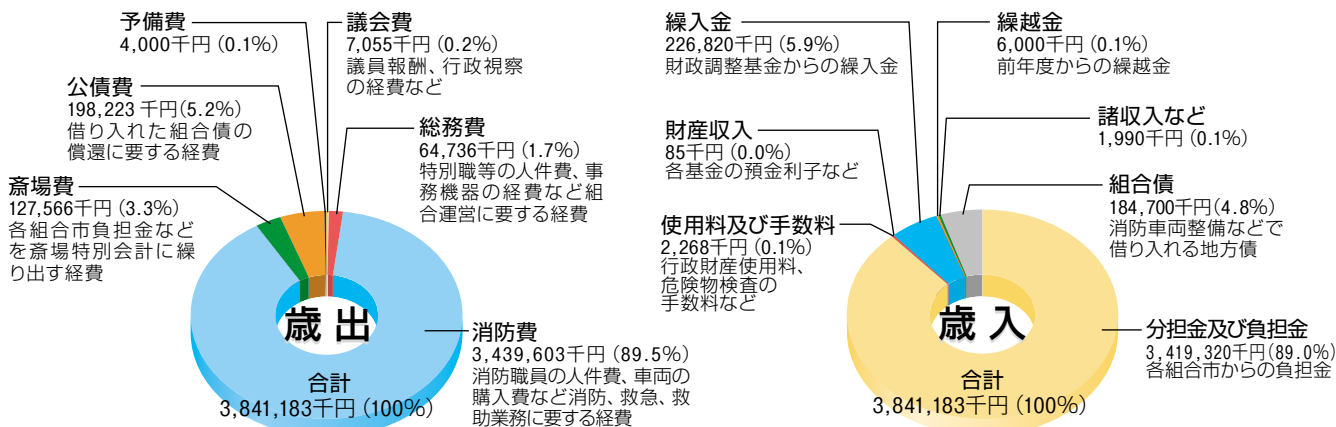
詳細については、7月頃、市広報紙、埼玉県央広域消防本部ホームページ (<https://www.ken-o.or.jp/firehead/index.html>) 及びツイッター (@SAITAMA_KENO)にてお知らせする予定です。
問合せ 消防総務課 ☎048-597-2002

令和元年度 組合予算の概要

一般会計及び斎場特別会計歳入歳出予算が、2月15日に開会された組合議会定例会で可決されましたので、その概要についてお知らせします。
問合せ 総務課 ☎048-597-2001

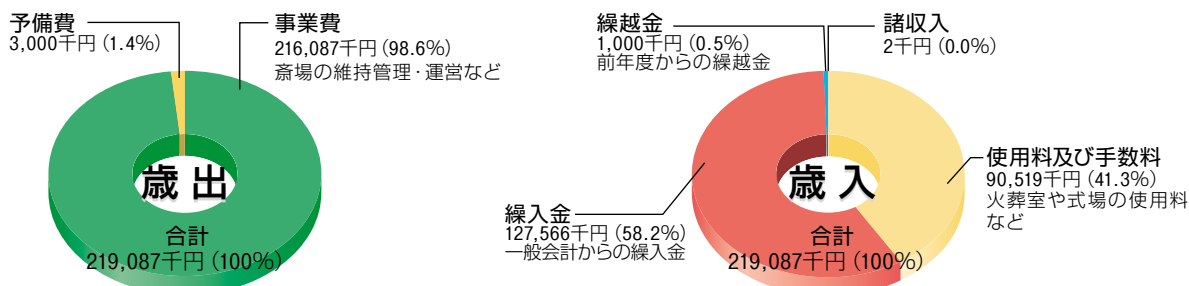
一般会計

当初予算 38億4,118万3千円



斎場特別会計

当初予算 2億1,908万7千円



県央ひろば

水難救助合同訓練の実施について

桶川消防署では、上尾市消防本部と合同で水難救助訓練を実施します。桶川市大字川田谷地内の荒川流域において水難事故が発生したことを想定し、救命ボート等を使用した捜索救助活動を行います。この合同訓練は河川で発生する水難事故に備え、水難救助活動力の向上を図るとともに、近隣消防相互の連携を強化し、安全で迅速な救助活動を行うことを目的としたものです。



- 時期：令和元年7月中旬頃
- 場所：桶川市大字川田谷地内荒川流域
太郎右衛門橋付近から樋詰橋周辺

平成30年度初級職員及び 新任消防司令補職員研修の実施

本研修は、平成15年から継続的に実施しており、初級職員及び新任消防司令補職員の、更なる知識と技術の向上を図ることを目的としています。

研修日の最後には、検討会を実施し、経験豊富な講師のアドバイスや受講者からの質問等、多くの意見を交わし、受講者は、知識、技術のみならず、消防職員としての心構えも学ぶことができ、実りある研修となりました。



大規模延焼（強風下）火災を 想定した大量放水訓練の実施

3月11日、14日に埼玉県消防学校屋外訓練場において大規模延焼（強風下）火災を想定した大量放水訓練を実施しました。

平成28年12月22日に発生した糸魚川市大規模火災を教訓に、強風下での活動に有効な放水器具（放水銃及びスムーズノズル）を使用したもので、ポンプ車等、延べ22台が参加しました。



訓練を通し、放水要領の習得、放水量及び放水飛距離の検証並びに大量放水時における適切な中継送水要領の習得が図られ有意義な訓練となりました。

熱中症に注意しましょう

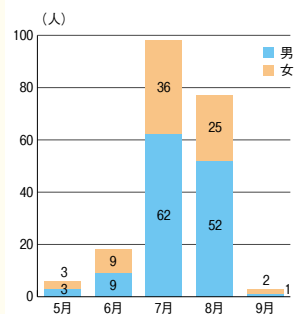
夏が近づき、気温の上昇する日が続いております。

昨年5月から9月までの5ヶ月間、当消防本部管内で202人（内65歳以上が105人）が暑さによる体調不良（熱中症など）により救急車で搬送されました。

炎天下でのスポーツや作業はもちろんのこと、屋内でも熱中症にかかる危険性があります。めまいや吐き気、体のだるさなどがあたら熱中症のサインです。直ちに水分補給や涼しい場所への移動が重要です。不安を感じたならば、救急車を要請してください。

熱中症の理解のため、埼玉県央広域消防本部ホームページ (<https://www.ken-o.or.jp/firehead/index.html>) をご覧ください。

熱中症による救急搬送人員状況(平成30年)



「住宅防火推進地区」の指定

住宅火災の被害低減を図るために、住宅用火災警報器の共同購入・共同設置を実施し、更に災害時共助として自主防災訓練に取り組み、住民に防火・防災意識の高揚を図る自治会を『住宅防火推進地区』として、平成31年3月末に鴻巣市の自治会等に対し指定書を交付しました。

今後も、多くの自治会が住宅防火推進地区として指定されるように働きかけを行ってまいります。

平成30年度指定一覧【鴻巣市】

常光ニュータウン自治会	市営第1自治会	市営第2自治会
市営第4自治会	市営第5自治会	



新しく配備された消防車両を紹介します

消防ポンプ自動車 (桶川消防署・平成31年1月配備)

この車両は、水600リットル及び圧縮空気泡消火装置(CAFS)を搭載し、火災等の災害に迅速に対応します。



高規格救急自動車 (桶川消防署・平成30年12月配備)

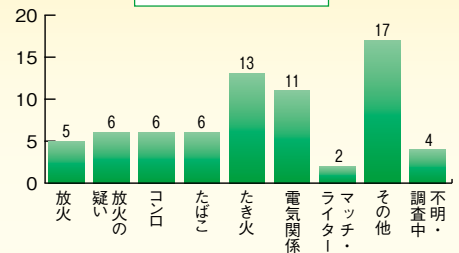
この車両は、救急救命士や救急隊員により、高度な処置が行える資機材(除細動器・心電図モニター・自動式人工呼吸器など)を装備した車両です。



平成30年 火災・救急・救助の概要について

平成30年の火災出動件数は、前年の81件から11件減少し70件となっています。火災原因別に見ると、平成29年に続きたき火が原因の1位でした。近年増加傾向にある電気関係の火災が2位で、放火・放火の疑いと続いています。火の不始末などが原因となるたき火やたばこが全体の約30%を占めています。火を取り扱うときは完全に消火を確認するまでその場を離れない、火気の付近には燃えやすい物を置かないなど、細心の注意を払い火災防止に取り組みましょう。

火災原因別件数



【火災】

市別	種別	建物	車両	その他	合計
鴻巣市		11	3	14	28
桶川市		12	2	11	25
北本市		8	2	7	17
合計		31	7	32	70

【救急】

市別	種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
鴻巣市		3,342	398	649	609	4,998
桶川市		2,331	334	471	357	3,493
北本市		2,004	228	423	458	3,113
その他		6	4	1	2	13
合計		7,683	964	1,544	1,426	11,617

【救助】

市別	種別	交通事故	火災	水難	その他	合計
鴻巣市		21	2	3	57	83
桶川市		10	10	2	21	43
北本市		2	8	1	35	46
合計		33	20	6	113	172

問合せ 予防課 ☎048-597-2004

日本語が話せない外国人からの119番通報の対応

まもなく、ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催されます。

埼玉県央広域消防本部では、2016年5月に日本語が話せない外国人からの119番通報に対応できるよう外国語通訳サービスを導入しております。導入したことにより、日本語対応と同じように迅速かつ確かな災害対応が提供できるようになりました。

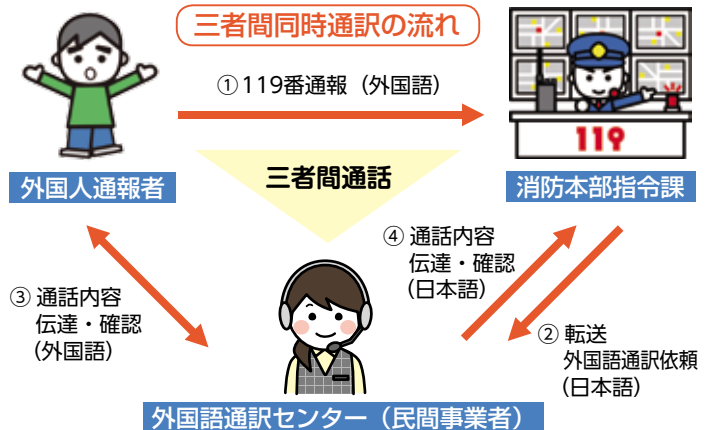
外国語通訳サービスとは

日本語が話せない外国人からの119番通報に指令員が対応困難と判断した際、通訳センターに繋げ三者間で通話することができます。現場対応時にも活用できます。

対応言語は

英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語

問合せ 指令課 ☎048-595-1191



市民公募による救命講習のお知らせ

救命講習を受講することで、心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法などの応急手当を学ぶことができ、身近な人が急に倒れた時に素早い応急手当を行うことができます。

当消防本部では、一般の方が個人で参加できる「普通救命講習(受講時間3時間)」や「上級救命講習(受講時間8時間)」を毎月1回参加費無料で開催しています。詳しくは、埼玉県央広域消防本部ホームページ(<https://www.ken-o.or.jp/firehead/index.html>)をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

問合せ 救急課 ☎048-597-2119